

株式会社MMCウイング

所在地 愛知県岡崎市
雇用障害者 知的障害者



知的障害者数名と指導者1名から成る ユニット単位で業務を遂行

事業所の概要

株式会社MMCウイングは、2007年に三菱自動車工業株式会社の特例子会社として設立されました。社員29名のうち、22名の知的障害者を雇用しています。愛知県岡崎市と岡山県倉敷市に事業所があり、それぞれ、三菱自動車工業内の福利厚生施設の清掃、機密廃棄文書・資料の回収・処理、仕損部品の分解・分別・廃棄、緑化作業等を行っています。

知的障害者を雇用するに当たっては、ハローワークを窓口として、トライアル雇用や必要に応じて地域障害者職業センターのジョブコーチ支援を活用しています。

障害者雇用の取り組み

社内への啓発(※親会社を含む)

親会社からの委託業務が中心であるため、株式会社MMCウイングの取り組みを親会社の社内報や社内イントラネットに掲載したり、幹部会議で紹介する等により、啓発と受託業務の拡大を図っています。

雇用管理上の配慮・工夫

知的障害者の受け入れに際し、次のような配慮・工夫を行いました。

- トライアル雇用を活用し、本人と職場の適合性を判断
- 地域障害者職業センターのジョブコーチ支援を活用し、知的障害者に対する作業指導や雇用管理のノウハウについて助言を得る
- 3~4名の知的障害者に対して1名の指導員を配置して、きめ細かな作業指導を行う
- 指導員に対して、「MMCウイング指導員心得」を示し、適切な作業指導ができるように周知
- 写真等を盛り込んだ手順書の作成

- 安全装置を取り付けたシュレッダーの設置
- ラッシュ時の通勤を避けるために、時差出勤を導入
- 体調管理のために月に1日以上、有給休暇の取得を奨励
- 継続雇用のためには生活面の安定が重要と考え、家族や福祉機関にサポートを依頼



安全装置を取り付けたシュレッダーで文書廃棄作業を行う

MMCウイング指導員心得

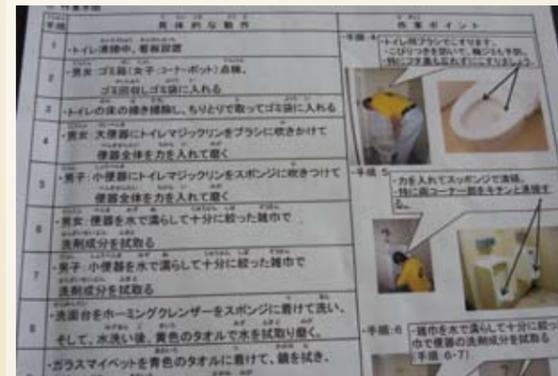
1. 作業員に対し常に愛情を持って接すること
2. 作業員の良き相談相手となること
3. 作業員の模範となる行動を実践すること
4. 作業指示は、明快かつ具体的にすること
5. 作業員を叱ることも必要であるが、褒めることも心がけること
6. 作業員に理解されないのは、自分に何が足りないかを考えること

加えて、業務遂行援助者の配置助成金や特定求職者雇用開発助成金も活用しています。

また、指導員の中には、親会社を退職して再雇用された人もいます。親会社の業務に精通し、親会社の社員ともコミュニケーションがとりやすい等、これまでの経験と人脈を活かしてもらっています。

職務の開発や調整

特例子会社設立に向けて、先行他社の特例子会社の見学や、親会社がアウトソーシング先に委託していた清掃業務を一部見直す等、業務を創出しました。



写真入りの清掃手順書

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	男子・ゴミ箱(ゴミ回収)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2	男子・ゴミ箱(コーナー)・ゴミ回収	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3	男子・トイレの床を掃く	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4	女子・トイレの床を掃く	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5	男子・便器をブラシで洗う	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
6	女子・便器をブラシで洗う	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7	男子・小便器をスポンジで洗う	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
8	女子・小便器をスポンジで洗う	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
9	男子・雑巾で洗剤成分を試取る	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
10	女子・雑巾で洗剤成分を試取る	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
11	男子・シンクを洗う(洗面台)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
12	女子・シンクを洗う(洗面台)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

手順の抜けがないかチェックする点検表

雇用事例

Case1: 三輪 愛さん

30代前半、勤続1年7ヶ月の三輪さん。知的障害があります。清掃、シュレッダーを使用した文書廃棄作業、部品の分解作業等に従事しています。過去にほかの会社に勤務していた経験があります。ハローワークの紹介で再就職しました。

Case2: 金澤 裕さん

20代後半、勤続2年5ヶ月の金澤さん。知的障害があります。清掃、シュレッダーを使用した文書廃棄作業、部品の分解作業等に従事しています。過去に車の部品製造会社に勤務していた経験があります。ハローワークの紹介で再就職しました。

Case3: Cさん

20代前半、勤続2年1ヶ月のCさん。知的障害があります。清掃、シュレッダーを使用した文書廃棄作業、部品の分解作業等に従事しています。特別支援学校卒業後、作業所に通っていましたが、ハローワークの紹介で入社が決まりました。



リサイクルのための部品分解作業

職場インタビュー

取締役社長 鎌田重雄さん

知的障害者の雇用を進めるに当たっては、単一の作業に限定するのではなく、親会社から様々な業務を受託し、多くの作業を作り出す方法を選択しました。様々な作業を経験することで、知的障害者の持つ可能性や、将来の自立に役立つのではないかと考えています。

複数の部署を持つ事業所であれば、障害者が担当できる作業を見つけることが可能だと思います。あまり難しく考えずに障害者雇用を進めてほしいと思います。



三輪 愛さん

以前勤めていた会社と比べて、仕事をいろいろ教えてくれます。わからないことは指導員に聞いています。間違えずに今の仕事を頑張りたいです。



金澤 裕さん

以前は車の部品製造会社に勤めていたので、トイレ掃除の仕事をするのは初めてでした。今は慣れました。もっとトイレ掃除が上手になりたいと思います。



Cさん

作業所と比べて仕事は早くやらなければいけません。でも、お給料がもらえるようになってうれしいです。電動ドライバーの使い方も慣れました。もっと早く仕事ができるようになりたいです。

